

No. 2 2 4 5

カヤトの稜線歩き 小金沢連嶺

実施日 平成 18 年 5 月 21 日(日)
 天候 晴
 リーダー 涌井 良明
 参加者 上野キヨ、友近洋子、吉田正之、佐藤金治、一柳昭、小池述史、馬場清士、涌井良明、大村巖、島本陳重 計 10 名
 コースタイム JR 高尾駅(7:10~25)塩山駅(8:46 タクシー) 上日川峠(9:22~30)休憩・尾根上(10:25~30)石丸峠(11:00)小金沢山(雨沢ノ頭)(12:13~45 昼食)牛奥ノ雁ガ腹摺山(13:21~30)川胡桃沢ノ頭(14:07~10)黒岳(14:50~55)白谷丸(15:10)湯ノ沢峠(15:50~55)旧林道分岐(16:20 タクシー)甲斐大和駅(16:55~01)JR 高尾駅(18:21)
 費用 ホリデーパス 2,300 円 大月 - 塩山 480 円 甲斐大和 - 大月 320 円 タクシー 1700 円 計 ￥4,800

3 週連続で中止に追い込まれた今年の 5 月の天候は真に梅雨そのものですが、久し振りの好天にぶつかり駅も電車もハイカーの姿が多い、我々もそれらの姿に混

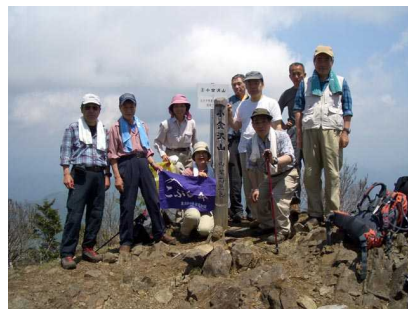


じって塩山で降りる。予約のタクシーで上日川峠へ、今後は此处までの道程を歩くのが嫌になるかも・・・、9 時 30 分、石丸峠に

向け歩き出す、この辺りでは丁度芽吹きで、淡い緑に気持ちや和む。遊歩道も終り車道を横切ると徐々に山道らしくなってくる。小沢を数回渡りながら登る、所々に見られる落葉松の芽吹きが青空に美しい、やや急な登りを終え尾根上に出ると美しいカヤトが眺められる、迎る石丸峠からの稜線である。気分の良い巻道が石丸峠まで続く、牛ノ寝方面を左に分け小金沢縦走路を



迎る。今回のキャッチイメージがハマる狼平を抜け、小金沢最高点(三角点・雨沢ノ頭の道標アリ)で昼食、



広くない山頂は我々含め数パーティで満員状態である。アライバイ写真を撮って 30 分程で後半へ踏み出す、ここからしばらく

くはややルートが掴みづらい部分があるが、稜線伝いを意識して道を拾いながら進めば良い。明るい牛奥ノ雁ガ腹摺山頂で開き加減の山桜は、今しも咲くからね！と言っている様だった。目立つピークではない川胡桃沢ノ頭を過ぎ、樹林帯を黒岳への登りになる、多少の緩急や倒木乗越しなど気を紛らせながら歩ける登りだ。



樹林の中の黒岳で、小池さん持参の例のもので一息ついた後に今日の下山にかかる。



ゆるく下り小さく登り返して開けた所が白谷丸だが、午後のガスに包まれていて、甲斐大和の駅絵のような富士山は望むべくもな

かった。ここからは湯ノ沢峠までは一気に下る、途中大きな白ザレの縁を通過するが年々侵食が進んでいるようで、大岩に走る数本の亀裂は不気味な感じだった。これを過ぎると程なく湯ノ沢峠で、直進は大蔵高丸方面へ縦走路が続くが、ここで右へ避難小屋のある広場に下り着く。林道終点で駐車場になっており、トイレもある。避難小屋の脇から旧林道終点まで、今日メの下りに入る、沢に沿った道は多少藪っぽさがあり、徐々に通う人も少なくなっている雰囲気は否めない感じた。

湯ノ沢峠入口とある標識からは先は林道になり、しばらくで旧焼山林道終点に着く、峠で呼んでおいたタクシーで甲斐大和駅へ下山した。割としっかり歩けた山行だった。参加の皆様お疲れ様でした。歩き足りなかった？メンバーは例の場所で例のごとく盛り上がったの帰宅になりました。

(記・涌井 良明)